

開講科目名 Course	管理会計特殊研究（Ａ） / Advanced Management Accounting（Ａ）
時間割コード Course Code	13660
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	水 / Wed 6
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	宮城 厚志
科目区分 Course Group	展開科目
教室 Classroom	
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	宮城 厚志（会計学研究科博士前期課程）
授業の目標	
授業の概要	<p>授業の概要</p> <p>１．前期講義の概要</p> <p>前期講義の目的は、一般に理解されている学術的な管理会計論に対して、実務から生まれたともいえる管理会計論（京セラ稲盛会長のアメーバ経営に用いられる管理会計システム論：以下「アメーバ管理会計論」）の基礎知識の習得に努めることにある。アメーバ管理会計論は「時間当たり採算制度」と呼ばれ、学術的な管理会計論とは一線を画している。そこで本講義は、学術的な管理会計論と比較することによって、アメーバ管理会計論の特質を理解できるよう講義する。講義方法としては、アメーバ経営関連の著書を用いながらアメーバ管理会計の基礎を学ぶ。前期講義では、それらの著書を通してアメーバ管理会計論の基礎知識の内容を理解することに努める。</p> <p>具体的な講義内容は、以下を予定している。</p> <p>（前期）</p> <p>１ アメーバ経営とは</p> <p>２ アメーバ経営の誕生</p> <p>３ 時間当たり採算表</p> <p>４ 経営哲学の重要性</p> <p>５ アメーバ経営と原価計算</p> <p>６ アメーバ経営と連結管理会計</p> <p>７ 管理会計としてのアメーバ経営</p> <p>８ 部門別採算制度の確立</p> <p>９ 経営者意識を持つ人材の育成</p> <p>１０ 全員参加経営の実現</p> <p>１１ セグメント別業種管理</p> <p>１２ 京セラフィロソフィー</p> <p>１３ 時間当たり採算制度（部門別採算の考え方）</p> <p>１４ 時間当たり採算制度（収入・経費・時間の捉え方）</p> <p>１５ アメーバ管理会計の基礎知識のまとめ</p> <p>２．評価方法</p> <p>ディスカッションでの発言及びレポート内容を総合的に勘案して評価する</p>
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	

テキスト	3.テキスト テキストは随時プリントを配布する。
参考書	4.参考書 『アメーバ経営の進化?理論と実践?』(アメーバ経営学術研究会編) 『管理会計』櫻井通晴(同文館出版)
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標(1～10)	
SDGs 17の目標(11～17)	